

バック連動リニアワイヤーキット取付説明書(Ver1.0)

09219

この度は、バック連動リニアワイヤーキットをご購入いただき、有難うございました。取付前に本説明書を熟読いただき、正しく取り付けて下さい。

取り付けはすべて自己責任でお願いします。当方はいかなる場合も一切責を負いません。

車両に接続する前に必ずこのページ中段の検査方法の検査を行って、配線が正しいか確かめてください。

基本キット製品構成 ・コントローラー(黒4) 1個 ・ヒューズ付き専用ハーネス 1セット

配線方法

ケーブル線色	説明と主な接続先
黒	ボディアースへ接続。
赤	常時電源の+へ接続。(基本結線図2で配線する場合20A以上可能な常時電源へ。)
青	接続しない。
緑	裏面配線図参照。
紫	裏面配線図参照。
青/白	裏面配線図参照。
緑/白	裏面配線図参照。
紫/白	接続しない。
茶	バックランプへ接続。(バック時12V。)
灰	フロントワイパーモーターの低速線へ接続。
黄	リニアワイヤー用ミストスイッチへ接続。(押している間リニアワイヤーが動作します。)
注意事項	接続しないコードは、必ずテープ等で絶縁してください。

：接続しなくても可

基板内ジャンパー設定について。(ジャンパー設定をするときは、基板の回路をショートしないようにしてください)

JP1:ジャンパーターミナル(黒い樹脂)を付けると単発モード、外すと連続モードになります。

JP2:JP1を連続モードに設定した場合、ジャンパーターミナルを付けると間欠動作、外すと連続動作になります。

JP3:フロントワイパーが+コントロールの場合、ジャンパーターミナルを付ける、-コントロールの場合、外す。

バック連動リニアワイヤーキット検査方法

車両に接続する前に必ず以下の検査を行って、配線が正しいか確かめてください。

配線完了後、コントローラーを接続する前に必ず以下の手順で配線を確認してください。

この配線検査を行わずにコネクターを挿すと、コントローラーが破損したり車両が壊れます。

必ず1番から2番または3番まで、順番に飛ばさずに確認してください。途中、正常でない場合は、次に進まずに配線を直してから次に進んでください。

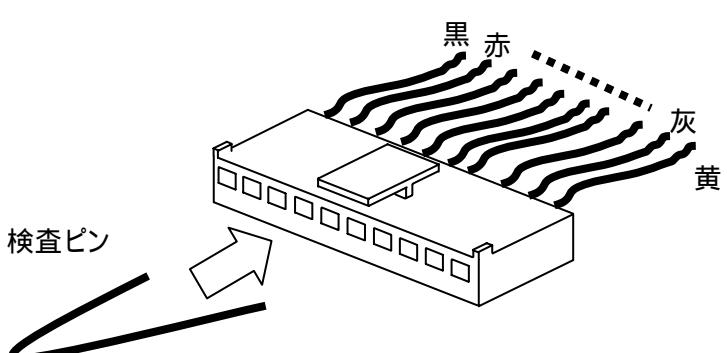
手順以外の差込は破損の元になりますので、絶対にしないように注意してください。

基本結線図2で配線した場合の検査方法は裏面に記載していますので、それに従ってください。

順序	基本結線図1 検査方法	車両の動作	異常の場合の不良原因
1	イグニッションキーをワイパーが動作する位置まで回し、紫と緑線に検査ピンを1秒差し込む。	リニアワイヤーが動作	赤、黒、紫または緑線の結線不良
2	コントローラーを接続し、フロントワイパーを数回動作させた後、ギヤをバックに入れる。	リニアワイヤー動作	茶、灰または黒線の結線不良またはコントローラーの初期不良

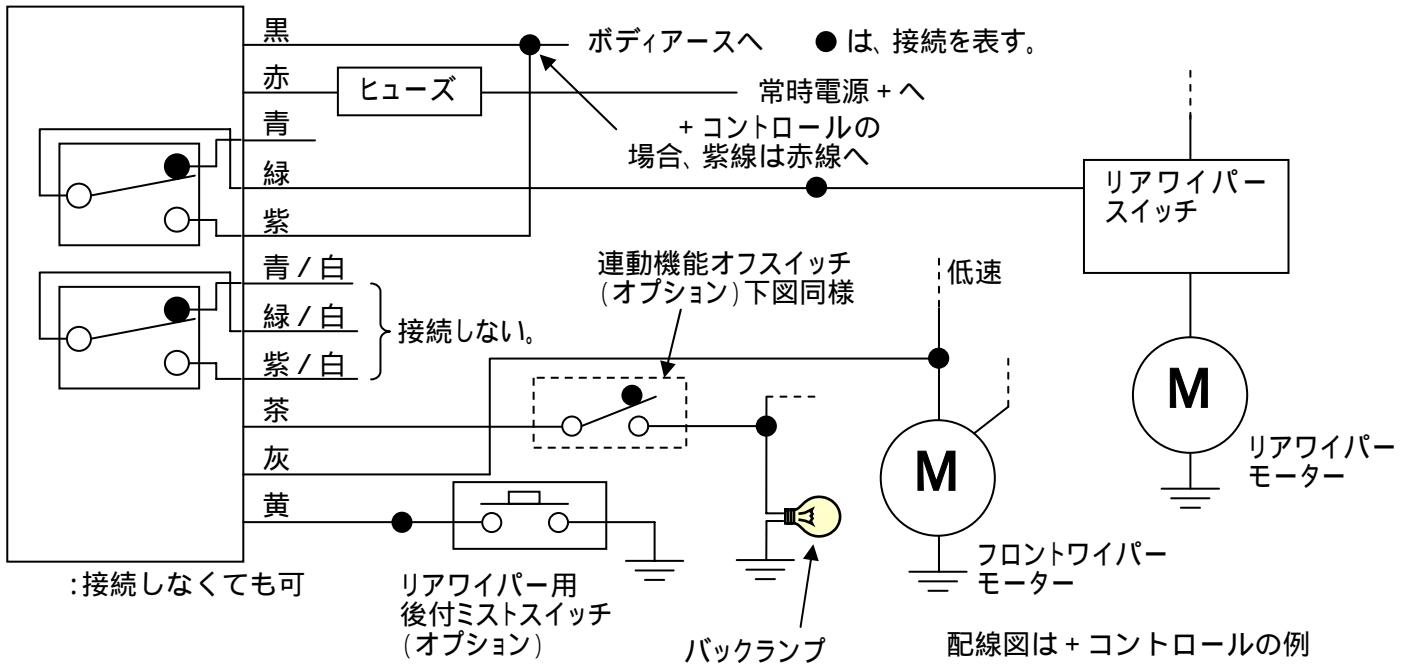
検査ピン

検査ピンは、書類を留める金属のクリップを1本御用意いただき、伸ばしてV字に曲げて製作してください。



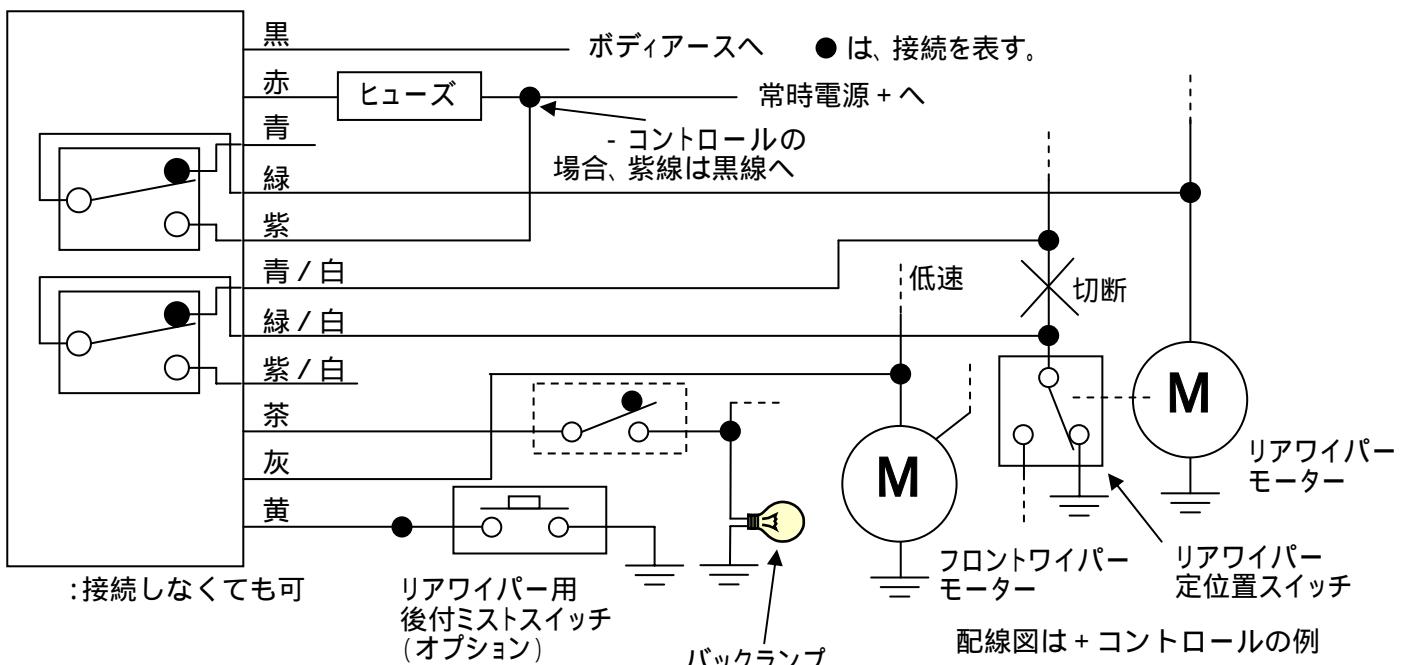
基本結線図1 (リアワイパーコントローラーがある車種。ほとんどの車種該当。)

配線するときは必ず11ピンのコネクターを抜いて作業してください。



基本結線図2 (リアワイパー・コントローラーがない車種。)

配線するときは必ず11ピンのコネクターを抜いて作業してください。



基本結線図2で配線した場合、検査手順は以下のとあります。

順序	基本結線図2 検査方法	車両の動作	異常の場合の不良原因
1	イグニッションキーをワイパーが動作する位置まで回し、紫と緑線に検査ピンを1秒差し込む。	リアワイパーが途中まで動作	赤、黒、紫または緑線の結線不良 ヒューズが飛ぶ場合は切断不良
2	青／白と緑／白線に検査ピンを2秒以上差し込む。	リアワイパーが定位置まで動作し停止	青／白または緑／白線の結線不良
3	コントローラーを接続し、フロントワイパーを数回動作させた後、ギヤをバックに入れる。	リアワイパー動作	茶、灰または黒線の結線不良 またはコントローラーの初期不良